

令和5年度 自己評価報告書

令和6年 3月25日

学校法人聖尚学園 幼保連携型認定こども園 ホップこども園

1. 本園の教育目標

- ◎神の愛のもとで心身ともに健やかに育つ子 「あかるくげんきなこ」
- ◎心に感じて表現できる感性を持つ子 「こころをすなおにひょうげんするこ」
- ◎頑張る心と生きる力を持つ子 「すすんでがんばるこ」

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

「どの子どもも楽しい、おもしろいこども園」

子どもファーストに、子どもが心地よくいられる園を目指す。今、ここにいる子どもを大切に、臨機応変に保育していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	① 安心 安全 健やかな環境
取り組み状況 評価 (A)	<p><0歳児> ・異年齢の刺激が受けられた・分担により、保育がスムーズにできた。・一対一での関わりを持てた。・玩具消毒には電解水も活用した。</p> <p><1歳児> ・複数担任で色々な子ども一人ひとり丁寧に関わることができたため、子どもの安心や成長につながった。 ・トラブルが起きにくい環境を整える工夫、目配りをしたい。・感染予防のゾーニング保育、トラブル対応は一対一でできた。・複数担任では連携に努めたが、情報共有の難しさも感じた。・玩具の清拭や消毒を継続できた。・日々の保育で取り入れていることを楽しみながら、運動会やお遊戯会のおけいこができた。</p> <p><2歳児> ・こまめな検温で体調を把握しながら、変化や症状を保護者に伝えることができた。・鼻水のかみ方、咳エチケット、手洗の仕方などの習慣を少しずつ身に付けて行けるように支援、声掛けを意識した。</p> <p><3歳児> ・体調不良のサインを見逃さないように検温と観察、職員間で連携した。・手洗を丁寧にできるように歌と共に指導してきた。・子ども達の「やりたい」の声をもとにクラスだけにとどまらず学年で遊びを展開できた。・トラブルとなりやすいパターンなどを共有し、気をつけて保育できた。・行事ごとに子どもが個人でも集団でも成長したことを実感できた。</p>

	<p><4歳児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に寄り添うことができた。クラスをこえて一人ひとりの育ちに向けた関わりができた。個人も、集団としても大きく成長した。・季節のイベントに遊びを絡めて深く遊びこむことができた。子ども、保育者もアイデアを出し合って楽しめた。・行事に関連した遊びを子どもから始める姿があった。・子ども発信の遊び、自発的な遊びが増え、話し合いの場などを用意し作り上げた。 <p><5歳児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみや遊びが不自由なく満足できるように努めながら感染対策をすることができた。・月末の事故防止マニュアルなどの確認をして安全に過ごせるように努めた。・「みんなの森棟」という意識でルールを確認し、子ども達主体で自然と関わられるようにした。四季を感じられるように過ごした。・森での続きの遊びにもう少し丁寧に関わりたかった。・困っていたり、遅れている場合でも、複数担任で丁寧に対応できた。 <p><給食></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心、安全、おいしい」を心がけ、複数でのチェック体制、声掛け確認しながらの作業をしてきた。今まで以上に丁寧に確認しながら異物混入などを防いでいきたい。 <p><看護保健></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健日誌にて振り返りながら、感染症流行状況や対応について考えられた。・手洗、うがい、消毒の必要性を職員で共有、子ども達への感染対策に活かした。嘔吐処理、心肺蘇生法について入職者向け勉強会ができた。 <p><子育て支援・リトミック></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒等は継続しつつ、様々な教具を取り入れ、意欲が高まった。 <p><英語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく盛り上がりながらも怪我がないように声掛けや、取り組み方の工夫をした。
評価項目	② 一人ひとりの思いを大切に、子どもの人権を尊重した保育
<p>取り組み状況</p> <p>評価 (A)</p>	<p><0歳児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での生活、体調を見て個別に対応した。体調があまり良くなくても預かる場合、対応に難しさがある。・気持ちを受け止める声掛けを意識。誘うが無理強いしない。・男女分けを避けた方がいいのでは。・肯定的な言葉がけを意識した。・「食べたくない」の気持ちも尊重。楽しい雰囲気ですら食事をした。 <p><1歳児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情や行動をよく見て思いを代弁することを心がけた。自分の思いが伝わる喜びが感じられるように関わられた。否定ではなく肯定語で言葉がけした言葉がけをした。自分で選択して活動に参加できるように工夫した。・今の姿を話し合い、成長や今後の対応に活かした。・研修で得た知識を活かした言葉がけや工夫。言葉の引き出しを増やしたい。・苦手な食べ物があっても、楽しい雰囲気ですら食事ができるように関わった。 <p><2歳児></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なことで個人差が大きいので、共感して代弁することで子どもに寄り添えるように意識した。・自信につながるように沢山褒めたり、認めたり安心できるようにした。・一人ひとりに挨拶を大事にした。一対一で関わられる時間を持ち、信頼関係を作った。

	<p><3歳児> ・朝と午後に子ども達のやりたい遊びを自分たちで用意、片づけする環境にしたことで、遊びこめるようになった。・他の活動でも子どもの思いを形にできるように心がけた。・気持ちのぶつかり合い、すれ違いによるトラブルが多かったが、どちらの気持ちにも寄り添えるようにした。子どもには相手の気持ちにも気づけるようになって欲しいと思い関わった。・子ども達からの問いに対して、自分で考えるきっかけになるように意識した。</p> <p><4歳児> ・子どもの口から容姿や体格についての言葉が出てきた時に対応に困った。・転入出が海外のお子さんがきっかけで世界に対する興味など刺激がもられた。伝わりやすい言葉を工夫し、子ども一人ひとりにわかりやすい声掛けを意識した。・不適切保育に配慮しつつ、「いけないよ」と伝える事もできた。沢山褒め、背中を押してやる気を引き出せるようにした。</p> <p><5歳児> ・自分の思いを言葉で伝えられる子ども達なので、満足するまで自分の思いを伝えられるように、一人ひとりに耳を傾けて最後まで聞くことができた。・不適切保育につながる可能性がある関わり方なども職員間で見つけ合い改善につなげた。・活動の中ではできる限り子どもの声を聞き、話し合いの場を設け、「自分たちで相談する・決める」を心がけた。子どもの言葉を否定せず丁寧にくみ取ることができた。・研修で声掛けなど学び、「今日のお遊び発表」では発表の意欲や、認められる喜び、発見する姿が見られた。</p> <p><給食> ・残さず食べられた、食べ方がキレイ、食器を上手に持っている…などできていることを沢山褒めるようにした。・姿勢の悪い子はその都度声を掛け、全体にも声を掛けるようにした。</p> <p><保健・看護> ・怪我や体調不良の対応は、年齢や個別に担任と相談して行った。必要時は休む場所や担当職員が交代し、安心できる環境ができた。</p> <p><子育て支援・リトミック> ・担任と連携して活動に入りやすい環境を作った。・子育て支援では月齢等に合った活動ができるよう個々に声を掛けることができた。</p> <p><英語> ・一人ひとり見て大切にすることと、全体の流れのバランスを取り、自然に活動にむかえるようにこれからも工夫したい。</p>
評価項目	③ 保育のスキルアップ
	<p><0歳児> ・保護者と成長を共有するだけでなく、困りごとなどの相談も行った。記録をすぐに残すことで振り返りやすくなった。・複数担任間で情報共有でき、対応に迷う時は話し合うことができた。</p> <p><1歳児> ・毎日のチェックシートのおかげで共有や反省ができた。みんなが発言しやすいように司会を交代制にした。・直接保護者と話して情報交換できた。・保育の流れや保護者対応などで迷った時は相談できた。・子どもの体調や行動を日誌に書き情報共有した。体調面を細かく保護者に伝えることで早めの対応が取れ、悪化を防ぐことができた。・日誌や個人記録を通じて成長に合わせた関わりができた。</p>

取り組み状況

評価
(A)

<2歳児>

・日誌や個人記録などで成長や上手くいった関わり方などの記録を残して共有した。他職員も対応できるように情報共有した。・午睡中に担任が集まり、話し合える時間ができたのがよかった。後半時間が取れない時が多かった。・2歳児両クラスの連絡の連絡帳を確認し、全体で共有した。・子どもの支援や対応に悩んだ際にはいろんな人に相談して保育に活かした。

<3歳児>

・振り返りや翌日の確認を全員ですることによって共通理解ができ、関わり方や今後の対応を話し合い、活かすことができた。・日誌や個人記録により、成長と課題が明確になった。・子どもの興味関心を共有し、活動をより良くする機会となった。

<4歳児>

・保育の質シートは毎日ではなく飛び石で記入したこともあったが、項目を読むこと内容を心がけることができた。・シートのおかげで担任が集まりカリキュラム、子どもの姿について話し合う場が持てた。・保護者の不安や心配に寄り添い、丁寧に対応した結果、子どもの姿を前向きにとらえられるようになった。過度な心配が減った。信頼を得られたことで、今後も頑張ろうという思いと意欲が出た。

<5歳児>

・日々の会話や振り返りで情報共有し、声掛けや気をつけることなど共通理解を持って、職員間の関係が築けた。・職員間で保育についてアイデアを言い出しやすく、学び合える環境だった。・毎日詳しく日誌を記入することができたため、見返した時にわかりやすくクラスや個人の様子がわかった。日誌を通してクラスの様子を知ってもらえ良かった。

<給食>

・同じメニューでも入る野菜の時期が違っていると味や出来上がりに差が出てしまう。味見をし、チェックをすることにより、安定したより良い給食が作れるように心がけた。

<看護・保健>

・電話やお迎え時の保護者対応では、「何を伝えるか」「どのように伝えるか」など担任と相談してできた。・コロナ5類移行など色々なことが変わった年だったが、臨機応変に乗り切ることができた。インフル・アデノの流行もあったが、基本的な感染対策を続けていきたい。

<子育て支援・リトミック>

・担任に個人への対応についてフィードバックしながら次回に活かすようにした。・担任もリトミック指導を行えるような内容を伝えていきたい。・感染症対策緩和でスキンシップを多く取り入れることができた。コミュニケーション力を高めていけるように更に工夫をしたい。

<英語>

・(全体振り返り) 今年はず1でコンスタントに英語できてよかった。特に未満児さんでよく覚えて楽しんでくれた。以上児ではふれあい、ペアでダンスなど活動的にできた。見たり聞いたりして楽しい部分と参加して記憶に残る部分の二つができるように工夫したい。

<読み聞かせ>

・子ども達が楽しみにしている様子。低学年ではプラスして関連するちょっとした遊びを子どもの反応に合わせて心がけた。・たまに他の学年の保育に入ると、チームの役割分担などの気づきにつながり良いかもしれない。

	<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年、日々の保育の振り返りを行うことで複数担任がチームとしてまとめ共有の考えを持てた ・コロナ5類となり異年齢での関わりを増やせた。大きい子から学ぶ、小さい子への思いやりなど体験して育てたいことにつながった。 ・コロナ禍で活かしきれなかった園の環境の有効活用。来年度からのスペースの使い方を工夫し、安全の中でも子どもが自分で選択できるような保育を取り入れていきたい。 ・いつどこで何が起きるか（災害等）わからないので保育室以外の場所にいる時の避難訓練や備えなど。学年リーダー不在時はどうするかなど、災害訓練後の振り返りが必要かもしれない。 ・学年リーダーの職員で集まる機会があるので、リーダー以外の職員が集まれる時間が作れると有意義ではないか。 ・安全に対する注意点の繰り返し確認が必要。忘れてしまうこともあるので、定期的な確認と全職員への周知、リーダーの職員任せにしない安全管理が大切。
--	---

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった） 職員による評価会議（園長、副園長、主任、学年リーダー、看護、給食、英語、リトミック担当）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>評価項目：①安心安全健やかな環境 ②一人ひとりの思いを大切に。子どもの人権を尊重した保育 ③保育のスキルアップ</p> <p>園内自己評価：子ども達が交流し合い、のびのびと過ごせる環境になるよう努力した。子どもの主体性を重視した保育や食育、子どもの思いを大事にした看護を工夫した。研修や職員同士で学び、声を掛け合って職務をより良くしようと心がけた。</p>

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安心・安全・健やかな環境	災害時や事故発生時など、いつどこで、何が起きても、適切に対応して子ども達を守れるように様々な想定をした訓練や備えが必要。「食事の安全」も重点的に取り組む。安全マニュアルはアップデートし、定期的に確認するなど、継続して危機管理できるようにする。
2	一人ひとりの思いを大切に、子どもの人権を尊重した保育	保育の質振り返りシートの継続、研修で新しい知識やスキルを得ていく。複数担任がチームとしてまとめ、子どもの利益のために動けるように、振り返りなど継続する。
3	自由遊びの充実	子ども達が自分たちで遊びの場を作り上げられるように、サポート役としての保育や環境作りに努める。

6. 来年度重点的に取り組む目標・計画（案）

「どの子どもも楽しい、おもしろいこども園」

子どもが自らの意志で遊ぶことを重視し、子どもの可能性を信じ、120%の力を引き出してあげられるようにバックアップやサポートをする。

7.学校関係者評価委員会の評価

<保護者代表 父母の会役員の皆様から> (R6年 3月4日 16:30~17:10)

- 今年は行事が人数制限や厳しい感染対策なしの行事ができてよかった。運動会も以上児全体できて、保護者としては喜びだった。
- これまでは、感染症対策や制限もあるなかで、子どもも不安があったかと思う。親も園や他の保護者と関わることができてよかった。
- 子どもや家庭に合わせて個別に対応してもらい、ありがたかった。
- 年少、年中では親の関わりがなかったが、年長になって親同士の関わりが持ててよかった。連絡ノートで分かりやすく知らせてもらってよかった。
- 行事で成長が実感できた。行事には両親でなるべく参加したい。
- 学年別の行事はコンパクトになり、じっくり見れて参加しやすい面がある。
- 運動会、クリスマス会は他の学年も一緒にという思いもある。
- 親子Dayでは、きょうだいで参加だと楽しめない場合があるので改善して欲しい。

<地域の方代表 理事、評議員の皆様から> (R6年 3月22日)

- 子どもは「まね」をして育つ。良い型を覚えて、伝えていけるような役割と、自分らしさを大事に自己肯定してアイデンティティになるような関わり、教育を基本として伝統を守って行って欲しい。
- 童謡や長く愛されるような歌はやはりいいので引き継いで歌い継いで行ってほしい。
- 自己評価でA判定なのは自信を持っていいと思う。
- 自由な雰囲気の中にも、ダメなことはダメと教えて行ってほしい。
- 伝統や古き良きものを伝えていくことは、それ自体が新しい試みだと信じている。大事なことは変わらずに伝えて行ってほしい。